

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 23 年 6 月 30 日 (2011.6.30)

【公開番号】特開 2009-267659 (P2009-267659A)
 【公開日】平成 21 年 11 月 12 日 (2009.11.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-045
 【出願番号】特願 2008-113229 (P2008-113229)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 1/00 1 0 7 Z

G 0 6 F 3/12 K

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 4 月 22 日 (2011.4.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像データを入力する入力手段と、
 前記入力手段で入力した画像データを処理する処理手段と、
画像処理機能を制限するための制限情報を取得する取得手段と、
 前記取得手段で取得した制限情報及び前記入力手段で入力した画像データの入力源を示す属性情報に基づき前記入力手段で入力した画像データの前記処理手段による処理を許可するか禁止するかを制御する制御手段とを有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、
 前記取得手段で取得した制限情報がコピー機能の利用を禁止することを示し、前記入力手段で入力した画像データの入力源が、原稿上の画像を読み取り、該画像を表す画像データを生成する読取手段であることを示す場合、前記処理手段による印刷処理を禁止するよう制御することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記制限情報は、前記画像処理機能をユーザ毎に制限するための情報であり、
 前記制御手段は、
 前記入力手段で画像を入力したユーザと前記処理手段で画像データを処理するユーザが同一ユーザであるかどうか判定し、同一と判定された場合に、前記取得手段で取得した制限情報に基づき前記入力手段で入力した画像データの前記処理手段による処理を禁止するよう制御することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記ユーザは、複数のユーザであるグループごとに固有の情報で特定されるユーザを含むことを特徴とする請求項 3 に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

前記入力手段はネットワークを介して画像データを入力することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

画像データを入力する入力工程と、
前記入力工程で入力した画像データを処理する処理工程と、
画像処理機能を制限するための制限情報を取得する取得工程と、
前記取得工程で取得した制限情報及び前記入力工程で入力した画像データの源を示す属性情報に基づき前記入力工程で入力した画像データの前記処理工程における処理を許可するか禁止するかを制御する制御工程とを有することを特徴とする画像処理方法。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の画像処理方法をコンピュータに実行させるためのコンピュータプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像処理装置、画像処理方法、及びコンピュータプログラム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、画像処理機能の利用を、ユーザごとに制限する画像処理装置、画像処理方法、及びコンピュータプログラムに関するものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明は、例えば、前記入力手段で入力した画像データを処理する処理手段と、画像処理機能を制限するための制限情報を取得する取得手段と、前記取得手段で取得した制限情報及び前記入力手段で入力した画像データの源を示す属性情報に基づき前記入力手段で入力した画像データの前記処理手段による処理を許可するか禁止するかを制御する制御手段とを有することを特徴とする。